

### 令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	在宅看護論実習	科目区分	統合分野	授業の方法	実習
対象学年	3 学年	単位(時間)	2 (90)	開講時期	3 年全期
<b>担当教員：木下 典子</b> <span style="float: right;"><b>実務経験のある教員による授業</b> <input checked="" type="checkbox"/></span> 在宅看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している					
<b>《科目目標》</b> 実習目的：1. 地域における保健・医療・福祉サービスの現状を知り、連携や協働のあり方、看護の役割を学ぶ。 2. 地域で生活しながら療養する人々と家族が直面している健康上・生活上の課題に対し、療養者と家族が主体的に持てる力を発揮し、その人がその人らしく生活できるような支援について学ぶ。					
<b>《成績評価の方法》</b> 実習評価表に基づき評価する。					
<b>《使用教材（教科書）及び参考図書》</b> 授業で使用した教科書、資料等					
<b>《授業外における学習方法》</b> 事前学習、課題学習を行う。					
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・演習をしっかりと受講し、事前準備を万全にして臨んでください。					
<b>実習プログラム</b>					
<b>実習期間</b>	3 学年 5 月～12 月				
<b>時間数</b>	合計 90 時間				
<b>実習内容</b>	1. 地域で生活する人々の健康回復・保持・増進、疾病予防のための地域保健活動を理解する 2. 地域住民が、住み慣れた地域でその人らしい生活を送るための地域包括ケアについて考察する 3. 在宅で生活する療養者と家族を生活の主体者として理解する 4. 健康障害を持ちながら在宅生活する療養者への支援を理解する 5. 在宅介護の維持・向上に必要な家族に対する生活支援を理解する 6. 療養者・家族を支える社会資源や関連職種との連携について理解する 7. 訪問看護のあり方を考察する 8. 看護者としての適切な態度を身につける				